

羽生 VS 久保

松江で王将戦第4局

新女流名人 里見さん大盤解説

羽生善治王将(39)と名人・王座・棋聖に久保利明棋王(34)が挑戦している第59期王将戦7番勝負の第4局(スポーツニッポン新聞社・毎日新聞社主催、山陰中央新報社など後援)が17日、松江市千鳥町のホテル一畑で始まった。

久保棋王の2勝1敗で前9時から始まり、互いに迎えた第4局は、同日午に気迫に満ちた表情で盤と向き合った。先手の羽生王将は居飛車、後手の久保棋王は得意の中飛車で駒を進め、持久戦の模様。

午後6時、久保棋王が42手目を封じ手として1日目を終えた。対局は18日午前9時から再開され、同日夜までには決着する見込み。会場には、県内外から約150人の愛好者が訪れ、出雲市在住の里見香奈女流名人(17)の出雲市在住、大社高校3年が、勝負第4局で、大盤解説や指導対局などを通じて一般の将棋ファンと交流し、人気を集めている。

ファンと交流、人気 里見さん

大盤解説会などのイベントは18日も開催される。王将戦は島根県内では2004年と08年に大田市であり、今回が3回目。松江市内では将棋の七大タイトル戦のうち1996年に名人戦が開催されているが、王将戦は初めて。



第59期王将戦7番勝負第4局で対局する羽生善治王将(右)と挑戦者の久保利明棋王(左)松江市千鳥町、ホテル一畑



第59期王将戦7番勝負第4局の熱戦を、大盤解説で伝える里見香奈女流名人・倉敷藤花(左)松江千鳥町、ホテル一畑

奈女流名人・倉敷藤花、井上慶太八段、安用寺孝功六段、室田伊緒女流初段らによる大盤解説会、指導対局などを満喫した。

大盤解説会などのイベントは18日も開催される。

る。

羽生善治王将と久保利明棋王の対局を紹介するため、今回は男性プロの井上慶太八段と安用寺孝功六段が大盤解説を担当。女流棋士の里見女流名人と室田伊緒女流初段も解説の聞き手などとして愛好者とのイベントを盛り上げている。

里見女流名人は写真撮影を求められるなど人気度が過熱気味で、関係者から心配する声もあったが、大盤解説に登場し、笑顔で解説者をサポート。18日も大盤解説などに登場予定で「羽生王将、久保棋王と同じ空間にいただけで勉強になり、王将戦を楽しみにしてきた。」

Go board diagram showing pieces and positions. Columns 1-9, Rows 1-9. Pieces include King, Queen, Rook, Knight, Bishop, Silver, Gold, Pawn, and Stone.

(第1日指了図・41手目 6五銀まで)

松江で王将戦第4局開幕



第59期王将戦第4局の大盤解説会に見入る将棋ファン

松江千鳥町のホテル一畑で

羽生善治王将(39)に久保利明棋王(34)が挑む第59期王将戦七番勝負第4局(主催・毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社、後援・山陰中央新報社など、特別協賛・小松電機産業、人間自然科学研究所)が17日、ホテル一畑(松江市千鳥町)で始まった。大盤解説会で、両雄の白熱した攻防に県内外から詰め掛けた約80人のファンが熱い視線を注いだ。10日に女流名人位を獲得した里見香奈さん(17)も出雲市、大社高3年でも解説の聞き手と指導対局に活躍、会場を盛り上げた。【鈴木健太郎】

一手一手の気迫

ファン熱い視線

里見香奈さんも指導対局で3面差し

久保棋王の2勝1敗 段、安用寺孝功六段がで迎えた対局は午前9 交代で解説。女流名人、時に開始。大盤解説会 倉敷藤花の2冠を達成 場では、大型プロジェ したばかりの里見さ クターで対局の盤面が ん、室田伊緒・女流初 放映され、井上慶太八 段とともに、対局を再



第59期王将戦第4局のイベントで、指導対局をする里見香奈さん(右)

現し、久保棋王の「次す」と語った。大田市の「一手」を観客に問う クイズもあった。 女流名人位について 安用寺六段から質問さ れた里見さんは「(女 流名人戦で)3連敗し てここに立つことにな るかと思っていました が、本当によかったで す。地元をはじめ支え てくれた方たちのため にも頑張ります」と、

1週間前の興奮もさめ やらぬ様子で語った。 解説の合間には、4人 による指導対局もあ り、里見さんも3面差 として、年長の将棋ファ ンを相手にしていた。 斐川町直江町の専門 学校生、佐藤正人さん (20)は「羽生さんの差 し手に興味があって見 に来ました。一手一手 ほか、早差し王将戦な 見るとやはり違いま ども行われる。

会場ではこのほか、 「人間自然科学研究所 理事長杯将棋大会」(同 研究所主催)も行われ、 約50人が腕を競った。 小松電機産業が韓国と 中国の将棋を紹介する コーナーも開設。盤も 駒も日本のものと少し 違う将棋に、訪れた人 は感心していた。 18日は対局と解説の

王将戦 前夜祭

わくわくプロの迫力

17日から始まる第59期王将戦七番勝負第4局(主催・毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社、後援・山陰中央新報社など、特別協賛・小松電機産業、人間自然科学研究所)の前夜祭が16日、対局会場のホテル一畑(松江市千鳥町)であった。羽生善治王将(39)と挑戦者の久保利明棋王(34)を始め関係者ら約300人が集まり、同市内初の王将戦開催を前に会場は熱気に包まれた。

【細谷拓海】



歓迎の花束を受け取る羽生王将(左端)と久保棋王(右端)
＝松江市千鳥町のホテル一畑で

前夜祭ではスポーツニッポンが第4局。勝負の機微が見える局面でわくわくまで。

くしている」、日本将棋連盟の淡路仁茂理事も「名人戦に次ぐ歴史のあるタイトル戦で、将棋界最高の技術を皆さんに見てもらいたい」とあいさつ。溝口善兵衛知事や小松昭夫・小松電機産業社長らも激励した。

羽生王将は「プロの技術と迫力を見せられるよう頑張りたい」、久保棋王は「人を感動させられるような将棋を指したい」とそれぞれ抱負を語った。

対局は17、18日、いずれも午前9時開始。対局中は同ホテル本館1階「サンシャインホール」で大盤解説会が開かれ、10日に女流名人位を獲得して2冠となった里見香奈さん(17)＝出雲市、大社高3年Ⅱによる指導対局なども行われる。

大盤解説会は1日券1500円(高校生以下500円)、両日券2500円。問い合わせはホテル一畑(0852・22・0190)まで。

きょうから松江・ホテル一畑 大盤解説会や里見さんの指導対局も



対局の健闘を祈る羽生王将(左)と久保棋王(右)。中央は井上慶太立会人

一畑薬師に祈願

羽生善治王将、久保利明棋王は16日午後、出雲市小境町の一畑薬師に参拝、対局の健闘を祈願した。出雲空港に到着した2人はバスで一畑薬師に移動。昼食で境内にある本坊書院で地元名産の出雲そばなどを食べた後、本堂で飯塚大幸管長がお経を唱える中、参拝した。

羽生王将は「風情を感じながら気持ち新たにできた。おそばもおいしくて感動しました」と笑顔で語り、久保棋王は「今回の対局だけでなく、棋士人生がうまくいくように祈りました」と話していた。

【目野創】

熱い攻防 感嘆の声

ファン、一手一手に興奮

松江

王将戦第4局

第59期王将戦七番勝負第4局(主催・毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社、後援・山陰中央新報社など、特別協賛・小松電機産業、人間自然科学研究所)は18日、挑戦者の久保利明棋王(34)が羽生善治王将(39)を制し

て通算3勝1敗にした。対局会場のホテル一畑(松江市千鳥町)では、前日に引き続き大盤解説会が行われ、約300人の将棋ファンが、両雄の熱い攻防を堪能した。

対局は午前9時、久保棋王の封じ手「8六



羽生王将(右)を降し第4局を制した久保棋王
—松江市千鳥町のホテル一畑で

歩」が読み上げられ再開。大盤解説会場となった同ホテル1階では、対局を映し出す大スクリーンの横で、井上慶太八段と、安用寺孝功六段、里見香奈女流名人が解説。終盤の速い攻防と、相次いだ緊迫した場面では、参加者から「次はこの手か」などと感嘆の声が上がっていた。

【鈴木健太郎】

見学に来た里見さんの妹、咲紀さん(13)は出雲市立三中1年。久保先生がうまく筋を読んでおられたようでした。王将戦の見学は初めてで、高いレベルの勝負を見て勉強になりました」と熱く語った。同市宇那手町の本田知里君(8)は市立稗原小2年、真央君(6)は同稗原幼稚園の兄弟は「激しい将棋だと思った。見に来て良かった」「先の手を読んだりできて面白かつ